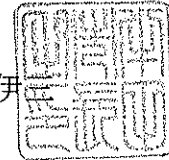


19 半土第 190号
平成 19年 5 月 7 日

国土交通省道路局長 様

半田市長 榊原 伊



中期的な計画の作成にあたってのご意見の提出について(回答)

平成 19年 4 月 2 日付け国道企第 114 号で依頼がありましたこのこのことについて別紙のとおり回答します。

今後の道路政策や道路の整備・管理についての意見

Q1. 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

当地においては、平成17年2月に中部国際空港が開港して以来、空港と三河地方を結ぶ道路ネットワークの一部を担う路線が未整備なため、市街地に流入する交通は市内各地で、慢性的な交通渋滞を引き起こしている。

これらの渋滞解消による円滑な交通確保が重要課題である。

一つに知多半島横断道路（セントレアライン）が、三河地域まで延伸する地域高規格道路の建設が、優先度の高い施策となる。

Q2. 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

踏切の立体化、主要渋滞交差点の改良、バイパスの整備など渋滞対策を実施し、さらに地球温暖化防止のため、エコドライブの普及、公共交通機関の利用促進及び道路緑化の推進を図る。

Q3. その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

道路特定財源の見直しがなされる中、道路特定財源以上に一般財源を充当し整備を行っている地方の実情も勘案の上、地方における着実な道路整備に向けて、地方への税源移譲も含め、安定的な財源を措置されるよう強く要望する。

また、国県道の維持管理は、十分な管理業務が実施されていないのが実情である。国土交通省では、美しい国づくり施策大綱を掲げて取り組んでいるが、当市も美しい街づくりを実施する上で、道路維持管理業務の充実を要望する。

さらに市町村道の維持管理事業において、補助事業の設置を強く要望する。